

5月1日

晴天に恵まれ 90人の赤ちゃん大集合

弥生のムラで端午の節句イベント「弥生のムラから初誕生」が開催されました。

好天に恵まれた会場には、満1歳を迎える赤ちゃんの健やかな成長を願って、約500の方が訪れました。初誕生のイベントでは、「餅ふみ・餅かるい」、「物えらび」、「泣き相撲」が行われました。泣き相撲では、今回から抱えずに台に置くように変更したところ、いつもより多くの赤ちゃんが泣きました。会場は赤ちゃん達の泣き声と保護者の笑い声で和やかな雰囲気に包まれていました。



4月24日

チャリティー
ドックフェスタ



「くにさきチャリティードックフェスタ2016」が国東町小原の黒津崎お祭り広場で開催されました。晴天にも恵まれ、会場には約500人の愛犬家が集まりました。

市内外から犬に関連するお店が多数出店し、ディスクドックの実演なども行われました。また、甚大な被害が出た熊本県益城町で災害救助犬と伴に捜索活動に参加した指導士坂本隆之さんが現地での活動内容を報告しました。

4月30日



山開きトレイルで両子山の絶景を楽しむ



春のロングトレイル第一弾として、両子山山開きトレイルが開催されました。この日は、市内外から約100の方が参加しました。今年の3月に、山頂からの景観を良くするため、雑木を伐採しました。参加者の皆さんは、山頂からの素晴らしい眺望を楽しんでいました。



市議会が
人口減対策の提言書を提出

5月13日



市議会が、人口減少・少子高齢化対策の提言書を三河市長に提出しました。この提言書は、以前開催した「議会報告会」と「市民との意見交換会」で出された意見を基に、議長を除く全議員が4つのグループに分かれて、市民と意見交換を実施しながら調査研究したものをまとめたもの。提言書の内容説明をした後での意見交換では、「子育てや就職など充実した支援の内容を、もっと市民に知らせる必要がある」という認識で一致しました。

ゴールデンウィーク
国見が『芸術のまち』になる

5月3~7日



地元の芸術家・工芸家で作る「国見アートの会」主催による「第13回国見町工房ギャラリーめぐり」が開催されました。今年3月末で休業していた国見ユースホステルがギャラリー巡りの初日にオープンして、会場の1つとして加わりました。また、国見ふるさと展示館では、アキ工作社が市内では初めて展示会を開催していました。



4月24日



もっと親しまれる病院を目指して



国東市民病院で、病院祭が開催されました。市民公開シンポジウムをはじめ、地元小中学生によるダンスや演奏の発表がありました。また、今回は初めて、国東商工会のKトラ市と合同開催となり、多くの来場者でにぎわいました。

4月25日

七島蘭が「カンヌ」にデビュー

くにさき七島蘭振興会の工芸士岩切千佳さんが、市役所を訪れて新作の雪駄を三河市長にお披露目しました。この雪駄は、5月にフランスで行われるカンヌ国際映画祭に参加するアメリカ人画家チャズ・ゲストさんが会場で履くために製作。チャズさん所有の草履を修理したことがきっかけで、今回の製作につながりました。岩切さんは、「これをきっかけにして、海外でもっと多くの人に注目されるようになると嬉しい」と話していました。



三浦梅園先生の遺徳をしのぶ

「第228回梅園祭」が、安岐町富清の梅園の里で開催されました。祭事・式典では読経・焼香の後、安岐中央小学校児童が元気よく「梅園先生をたたえる歌」を合唱。記念行事では、梅園文化財愛護少年団児童の作文や両子山正琴愛好会の皆さんの大正琴の発表、勇壮な富永子供神楽が披露されました。また、今年は西武蔵地区公民館3B体操教室の受講者の指導で、笑顔いっぱい3B体操を体験。安岐中学校吹奏楽部の演奏にはひと際あたたかい拍手がおくられました。

4月29日

